

## I 風通しのよい職場づくりと教職員間の協力体制の整備

教職員相互が、よきパートナーシップを築き、悩みや課題を共有し、問題点をチェックし合いながら、意欲をもって校務に当たれるような職場環境づくりを進めましょう。

### 管理職に求められること

#### ① 声かけの励行

- ・ 教職員全体に目を配り、日常的、意識的に声かけを行いましょよう。

#### ② 相談しやすい環境づくり

- ・ 教職員が相談しやすい環境を整備し、提案や苦情に対しては適切に対応しましょよう。

#### ③ 校務分掌の割振り等への配慮

- ・ マンネリ化や特定の者に業務が集中していないかなどに配慮しましょよう。

#### ④ 中堅リーダーの育成

- ・ 業務を確実に果たし、組織の中で指導力を発揮できる中堅リーダーの育成を図ってください。

#### ⑤ 組織としての目標の明確化

- ・ 学校の目指す方向について認識を共有し、明確な目的意識をもって校務に当たれるよう、組織共通の目標から各校務分掌の目標まで、その明確化をはかりましょよう。

### 教職員全体に求められること

#### ① 日常業務における組織的対応の徹底

- ・ 「報告・連絡・相談」の徹底を図り、特に、悪い情報ほど迅速に管理職に伝えましょよう。
- ・ 授業や補習、部活動、生徒指導等の指導の場面において、可能な限り複数の教員が関わらましょよう。
  - \* 特定の児童生徒への個別指導については、1人の教員のみに任せることがないようにする。
  - \* 特定の児童生徒に対して、特に、1対1での対面指導を行う必要がある場合にも、事前・事後の連絡・報告を徹底する。

##### 【具体的な取組(例)】

- ・ 部活動において、2人顧問制をとる。
- ・ 「ティーム・ティーチング」授業の導入を推進する。
- ・ 金銭の取扱いについては、1人に任せず、学級費や親睦会費等の定期的な監査を行う。

#### ② 学年、教科や校務分掌等をこえた協力体制の整備

- ・ 様々な課題に応じて、職務上関わりのある教職員の間で情報交換の機会や場を設定し、問題の共有化を図らましょよう。
- ・ 組織全体で、効率的・機能的に業務を進められるよう、各教職員ごとの役割分担の明確化をはかりましょよう。
- ・ 業務の繁閑に応じ、各教職員や各校務分掌組織等が相互に支援し合いましょよう。

#### ③ 教職員間のコミュニケーションの促進

- ・ 休憩時間における雑談を含め、教職員どうしが互いに何でも話せる雰囲気づくりに努めましょよう。

##### 【具体的な取組(例)】

- ・ 教職員間の親睦を深める行事を行う。
- ・ 教職員のための談話スペースを設ける。